

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	論理・表現Ⅱ	単位数	2単位	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース
使用教科書	be English Logic and Expression II Clear (いいずな書店)		副教材等	be Clear Grammar Book II (いいずな書店)、Next Stage (桐原書店)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	各単元の文法項目を正しく用いて表現することができ、時事問題や現代社会が抱える問題などの題材について自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする意欲的なコミュニケーションを取る姿勢を身に付ける。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
文法事項の意味や働きについて理解し、書く・話す／伝え合う技能を身につけている。	各単元の題材について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	各単元の題材について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	■Introduction 「論理的に考える」ためのウォーミングアップ ■Your Interests 興味のあることについて話す	【言語材料】 ・自動詞/他動詞 ・動詞の形 ・句と節 ・時制 【言語の働き】 ・情報をたずねる	○	○	○	時制の意味や働きについて理解している。 (●) 時制などを適切に用いて、伝え合う技能を身につけている。(◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス評価
5	■Your Daily Life 日常生活を紹介する ■Your School Life 学校生活について話す	【言語材料】 ・名詞句/名詞節 ・助動詞 【言語の働き】 ・交渉する ・手順を説明する	○	○	○	名施設や助動詞 (●) 名施設や助動詞など (◎) いま流行していることや学校生活について、 (◆) いま流行していることや学校生活について、 (■)	
6	■Script Writing スピーチやプレゼンテーションに向けて、自分が話す原稿を考える ■Media Literacy メディアリテラシー	【言語材料】 ・形容詞 ・分詞 【言語の働き】 ・例を挙げる ・相手の意見を聞く	○	○	○	形容詞や分詞 (●) 形容詞や分詞など (◎) 最近目にしたことについて、(◆) 最近目にしたことについて、(■)	
7	■Helping Others ボランティア活動 ■Introducing Your Town 地域活性レポート	【言語材料】 ・形容詞句 【言語の働き】 ・提案する	○	○	○	形容詞句や関係代名詞/副詞 (●) 形容詞句や関係代名詞/副詞など (◎) ボランティアの経験や町の魅力について、 (◆) ボランティアの経験や町の魅力について、 (■)	
8	■Speech Activity ここまで習ったトピックを派生させてスピーチをしてみよう	【言語の働き】 ・聞き手に伝わりやすい表現を考える ・聞き手に聞こえやすい話し方を工夫する	○	○	○	一学期に学習した文法事項 (●) 一学期に学習した文法事項 (◎) 自分の現在関心があることや地域について、 (◆) 自分の現在関心があることや地域について、 (■)	
9	■Language of the World & Discussion 世界の言語	【言語材料】 ・副詞/副詞句 【言語の働き】 ・同意する/しないの意思表示をする ・確認する	○	○	○	副詞 (●) 副詞など (◎) 言語の消滅について、(◆) 言語の消滅について、(■)	

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 0	■Imagining the Future 想像力を働かせる ■Happiness and Stress 新しい幸福の形とストレス	【言語材料】 ・副詞句/節 【言語の働き】 ・あいづち ・グラフや図に注目させる	○			副詞句/節 (●) 副詞句/節など (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		与えられたストーリーの続きおよび自分の 幸せについて、(◆)	
					○	与えられたストーリーの続きおよび自分の 幸せについて、(■)	
1 1	■Comparing Countries 世界のデータを比較する ■Giving Presentation	【言語材料】 ・比較表現 【言語の働き】 ・グラフや図に注目させる	○			比較表現 (●) 比較表現など (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		データから読み取れることについて、(◆)	
					○	データから読み取れることについて、(■)	
1 2	■Cultural Diversity 文化の多様性 ■Japanese Customs 日本の文化	【言語材料】 ・仮定法 ・接続詞/話法 【言語の働き】 ・理由をたずねる ・感謝を伝える	○			仮定法や that 節/話法 (●) 仮定法や that 節/話法など (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		途上国の支援やアンケート結果の分析につ いて、(◆)	
					○	途上国の支援やアンケート結果の分析につ いて、(■)	
1	■Population Issues 人口問題 ■Debate 時事問題の解決策や現在施 されている対策についてデ ィベートをする	【言語材料】 ・「ある」「いる」「かかる」 【言語の働き】 ・共感する	○			存在や変化を表す表現 (●) 存在や変化を表す表現など (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		少子化対策について、(◆)	
					○	少子化対策について、(■)	
2	■Rights and Equality 人権と平等 ■Think Globally, Act Locally 平和な世界を築くために	【言語材料】 ・使役動詞 ・知覚動詞 ・無生物主語 【言語の働き】 ・反論する前にクッションを置 く ・話を切り出す	○			使役動詞/知覚動詞や無生物主語 (●) 使役動詞/知覚動詞や無生物主語など (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		ジェンダーや人権問題および SDGs につい て、(◆)	
					○	ジェンダーや人権問題および SDGs につい て、(■)	
3	■Show and Tell (Presentation) 時事問題の現状や、現時点で の取り組みについての意見、 新たな提言などについて視 覚的な見易さも考慮した上 でプレゼンテーションを行 う	【言語材料】 一年次の文法事項 【言語の働き】 ・伝わりやすさを考慮して伝え る ・共感や疑問などを含むコメン トや質問をする	○			二年次に学習した文法事項 (●) 二年次に学習した文法事項 (◎)	定期考査 発問評価 提出物 小テスト パフォーマンス 評価
				○		時事問題やそれに対する現時点での取り組 みについて、(◆)	
					○	時事問題やそれに対する現時点での取り組 みについて、(■)	